

ストッキング・ソックス・インナーウェアのアツギ 新規シューアッパー事業の進展に関するお知らせ

アツギ株式会社（本社：神奈川県海老名市、代表取締役社長：工藤洋志）は、イタリアの靴下編み機製造最大手ロナティ社（LONATI S.p.A、本社：イタリア共和国ロンバルディア州ブレシア 代表取締役社長：エトレ・ロナティ氏）とユニオン工業株式会社（本社：兵庫県尼崎市、代表取締役社長：永田達也氏）の協力を得て、今年4月にアツギにとって初となるシューアッパーの開発着手を発表しましたが、このたび、これを事業化を視野に入れて進展させることとなりました。事業化を目指すにあたり、アツギはシューアッパー用丸編み機を供給するロナティ社と技術提携することで基本合意しました。提携内容は、世界最大規模の国際繊維機械展示会 ITMA（イトマ）2019（スペイン・バルセロナ市にて開催）のロナティ社展示ブース内にて、6月21日に行う両社社長会見で発表致します。



シューアッパー製造の事業化に向けた試作品

今回導入したロナティ社のシューアッパー編み機について

アツギはストッキング製造業で広く知られておりますが、リブソックスの製造実績も豊富な企業です。アツギが事業展開を目指すシューアッパーは、リブソックスの製造機種と同様の構造・機構を持つダブルシリンダー機で、世界的にも導入事例が希少な、ロナティDC88XSで製造します。



技術提携のベースとなるロナティDC88XS

既存のニットシューアッパーとの違い

従来のニットシューズのアッパー部分は、横編み機で平面の編み生地を作り、これを裁断してミシンで縫い合わせる製法で作られています。これに対してロナティDC88XSは、靴下編み機と同じ丸編み機の機構を持ち、生地を初めから靴下の形に編むため、

- ①シーム（縫い目）がなく
- ②足の形状に沿った立体型の

着用感に優れたシューアッパーが完成します。シーム部が足に当たることがなく、足首部を中心に足を包み込む様な快適な履き心地が得られます。

この製法は、生地の無駄が発生しないこと、縫製工程が不要なので生産効率が良いこと、裁断縫製作業が困難な小さなニットシューズ（子供用など）でも容易に製造できることなど、生産上の優位性を併せ持っています。

一方で、DC88XSでは、シューアッパーに適した生地を編むために、従来の靴下編み機では使用できない太い糸を使用することが可能です。シューズに適した厚み・弾力・丈夫さを備えた組織を編成することが出来ます。

アツギは、ダブルシリンダー丸編み機を駆使できる企業が希少であることを強みとして、アツギならではの・靴下編み機ならではのオリジナリティを追求し、既存のニットシューズとの差別化を図ります。

アツギの商品開発の方向性

DC88XSの特長と、アツギの技術力、具体的にはダブルシリンダー機に適した素材選定・機械の調整・デザイン・柄
図データ開発等のテクニックを組み合わせることで、ニットシューアッパーとしては特徴的な、凹凸感のある様々な柄
(リンクス柄・ジャカード柄など)を編みこむことができます。

これらの表現の幅によって、完成品となるシューズのデザインの可能性は大きく広がっています。当初から想定されて
いた、ソックスのように軽くてフィット感に優れ、着脱しやすいイーゼルウェアリングシューズはもちろん、多彩な
色・柄を使用し柄タイツを想起させる、アツギならではのファッションシューズも、現時点で開発の方向性の主軸とな
っています。

ロナティ社との技術提携について／両社社長会見の開催

事業化に伴い、ロナティ社との技術提携が決定しました。技術提携内容は、下記の通り開催予定の、両社社長会見
にて発表いたします。

会見日時：スペイン時間 2019年6月21日（金）午後3時～

会見場所：ITMA 2019 ロナティ社展示ブース（H8.0-C201）内

ロナティ社について

会社名：LONATI S.p.A.

<https://www.lonati.com/>

所在地：イタリア共和国ロンバルディア州ブレシア

資本金：7,425万ユーロ（2019年5月1日現在）

代表者：エトレ・ロナティ氏（ETTORE LONATI, President）

事業概要：靴下用丸編み機を主とする繊維機械の製造・販売

設立：1945年

本件のお問い合わせ先

アツギ株式会社 マーケティング部 担当：山先 薫（午前9:00～午後5:00まで） お問い合わせ専用電話番号：046-235-2450

会社名：アツギ株式会社 代表者氏名：代表取締役社長 工藤洋志 資本金：317億円

本社所在地：神奈川県海老名市大谷北一丁目9番1号 お問い合わせ先：TEL:046-235-2450 FAX:046-232-7507